

「ステイホームできない少女たち」

特定非営利活動法人BONDプロジェクト



- 2020年4月7日

- 新型コロナウイルス感染症拡大に伴う「緊急事態宣言」発令。

外出自粛・休業要請により、「ステイホーム」のかけ声の下、多くの人が自宅で過ごすことを余儀なくされた。



- BONDプロジェクトの相談にも・・・

「コロナで、、、」という相談が増えていった。

“コロナでもっと大変な状況になってしまった”

“家が安全ではない、安心できる場所ではない” という状況の子からの相談も多く届いた。

- 全国から声は届くが、出張面談ができない

このような状況下で、遠方に住む子に会いに行くことが困難に。



大変な状況を、声を聞かせてもらいたい・・・⇒ 緊急調査を実施！！

10代20代女性における 新型コロナウイルス感染症拡大に伴う影響についてのアンケート調査



- **目的**

新型コロナウイルス感染症拡大防止のための外出自粛等による10代20代の生きづらさを抱えている女の子たちが受けた影響について調査し、実態を把握することで、今後の対策や支援に生かせるよう、社会に発信していくことを目的として実施した。

- **対象者**

BONDプロジェクトの公式相談LINEに友達登録している若年女性（過去にBONDプロジェクトにLINE相談をした人や相談に至らないが関心を持ってLINE登録をしている者）。

- **実施方法**

BONDプロジェクトのLINEに登録している若年女性にアンケートフォームを送付し回答を収集した。

① 2020年6月16日配信 9,501人 ② 2020年6月23日配信 9,593人

- **回答数** 950人

- **実施期間** 令和2年6月16日～令和2年6月29日

アンケート調査内容（全6項目）



Q1 あなたの年齢を教えてください。

Q2 あなたの職業を教えてください。

Q3 あなたが住んでいる場所を教えてください。

Q4 新型コロナウイルス感染症拡大防止のための外出自粛や休業要請の影響で困ったことについてお聞きします。
この期間に回数が増えたなど、困っていた項目があれば選んでください。（複数回答可）

① 家族・おうちのこと

ア、(家族から)暴言を言われる

イ、(家族から)イライラをぶつけられる

ウ、(家族から)叩く、蹴る、引っ張られる、物を投げつけられる

エ、(家族から)体をさわられたり、裸をジロジロ見られる

オ、家事や育児でストレスが大きく、子どもにあたってしまった

カ、夫、同居人などからDV被害（暴力・制限）があった

キ、上記以外の家族関係の問題があった

ク、困ったことはなかった

② 体・心のこと

ア、眠れない

イ、やる気がおきない

ウ、体に力が入らない

エ、食べる元気がなくなった

オ、心配（不安）なことが増えた

カ、消えたい、死にたいと思った

キ、ひとりぼっち（孤独）だと感じた

ク、自分を傷つけることが増えた

ケ、その他の健康に関する問題があった

コ、困ったことはなかった

③ ネット、SNS（スマートフォン）のこと

- ア、知らない人とやりとりをした
- イ、SNS、ネットで傷つくことを言われた（された）
- ウ、怖いことを言われたり、だまされた
- エ、自分の写真を知らない人に送ってしまった
- オ、住所や学校名などを教えてしまった
- カ、その他のネット、SNSに関する問題があった
- キ、困ったことはなかった

④ お金、くらしのこと

- ア、お金がない、お金に困った
- イ、電気、ガス、水道、電話などが止まった
- ウ、食べるものがなかった
- エ、仕事が減った、なくなった
- オ、奨学金などの返済ができなくなった
- カ、借金をした
- キ、パパ活、援助交際をした
- ク、ひととき融資などでお金を得た
- ケ、いつも行く所が休みで、行く場所がなかった
- コ、家を離れるなどの今後の見通しが立たなくなった
- サ、その他の生活上の困難があった
- シ、困ったことはなかった

⑤ 学校のこと

- ア、友達、いじめ、不登校などの悩みが減った
- イ、休校が長くなって不安になった
- ウ、先生に相談したくてもできなかった
- エ、友達、先生に会えなくてさみしかった
- オ、給食がなくなって昼ごはんが食べられなかった
- カ、勉強や宿題（課題）に困った
- キ、久しぶりに学校が始まることになって心配になった
- ク、その他の学校に関係する問題があった
- ケ、困ったことはなかった

⑥ 望まない妊娠をした、したかもしれない不安がありましたか？その相手は誰ですか？

- ア、交際相手
- イ、夫
- ウ、父親、兄、弟、その他親族
- エ、援助交際、パパ活、泊めてくれた人
- オ、その他知人
- カ、知らない人
- キ、なかった

Q5 外出自粛・休業要請期間中に、どんな助けがほしいと思いましたか？

当てはまる項目があれば選択し、その他にもあれば自由記述をしてください。

- ア、気軽に相談できて、住んでる場所の近くで相談できる支援者がいるといい。そうした人と繋がりたい。
 - イ、家が危険だったり、精神的に限界がきている時に、家以外で安全に過ごせる場所がほしい。
 - ウ、学校が休校になったとしても、保健室やカウンセラーなど相談できる体制は作ってほしい。
 - エ、金銭的に困っても、収入減の証明ができず支援を受けることができなかったので、証明できるようにしてほしい。
 - オ、金銭的支援を受けることができるなら、（コロナ感染症予防と拡大防止の為に）仕事を休みたい。
- （自由記述あり）

Q6 外出自粛・休業要請期間が終わり、今後半年から1年くらい先を考えると、どんな不安がありますか？

また、どんな助けがほしいと思いますか？

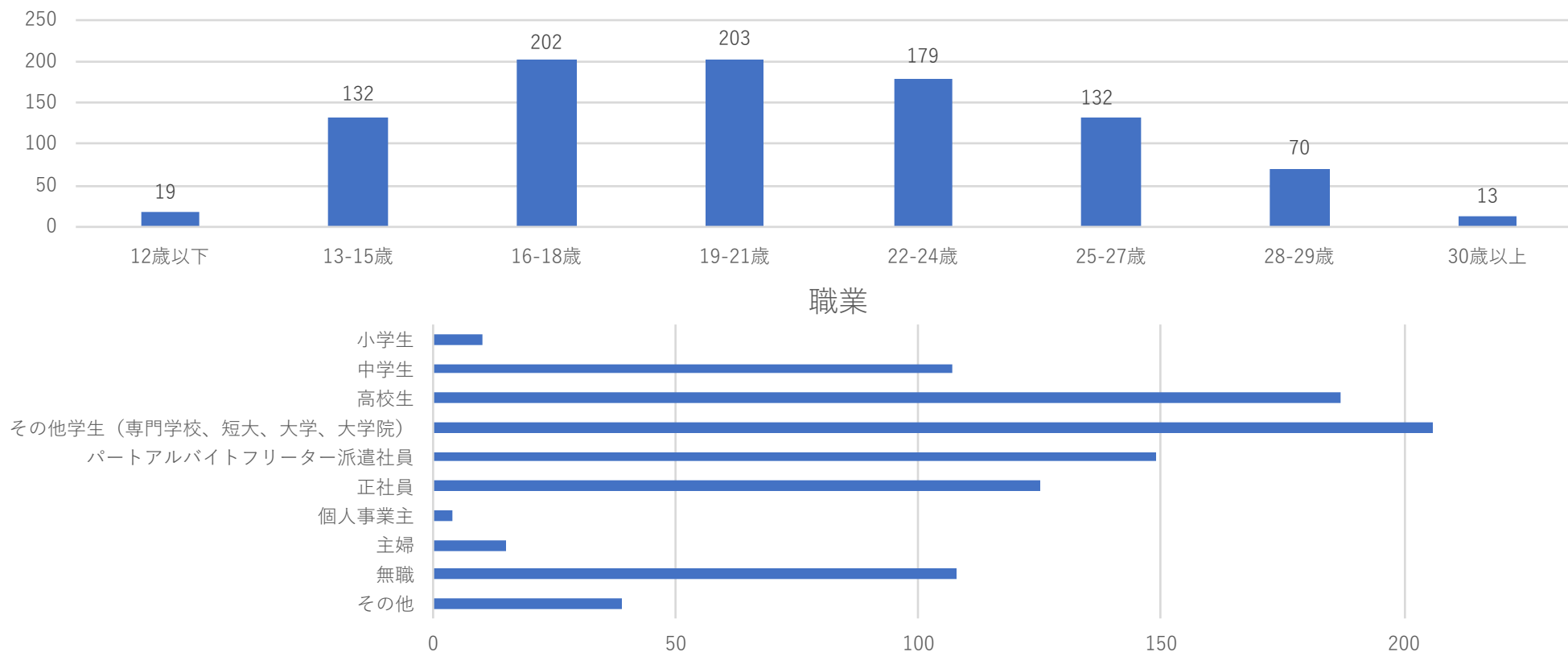
（自由記述）

1. 回答者の年齢と職業

○年齢は、13歳から27歳までが90%。

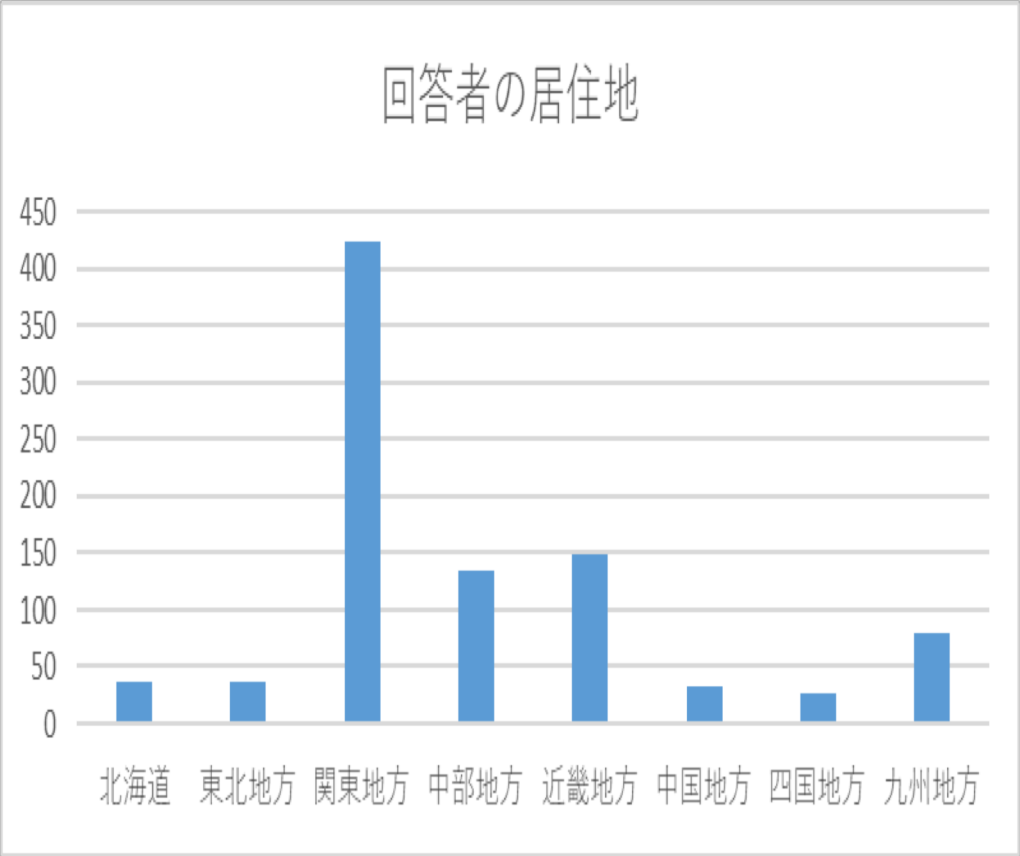
○学生・生徒が54%（510人）。その他学生（専門学校、短大、大学、大学院）が最も多く22%で、次に多い高校生が20%。中学生が11%。

○学生・生徒以外が46%（440人）。その中ではパート・アルバイト・フリーター・派遣社員が34%、正社員が28%、無職25%。



2. 回答者の居住地

- 関東地方が最も多く45%、近畿地方16%、中部地方14%、九州地方8%、東北地方7%、北海道4%、中国地方3%、四国地方3%
- 新型コロナウイルス感染者の多い上位10都道府県は63%（950人中601人）。



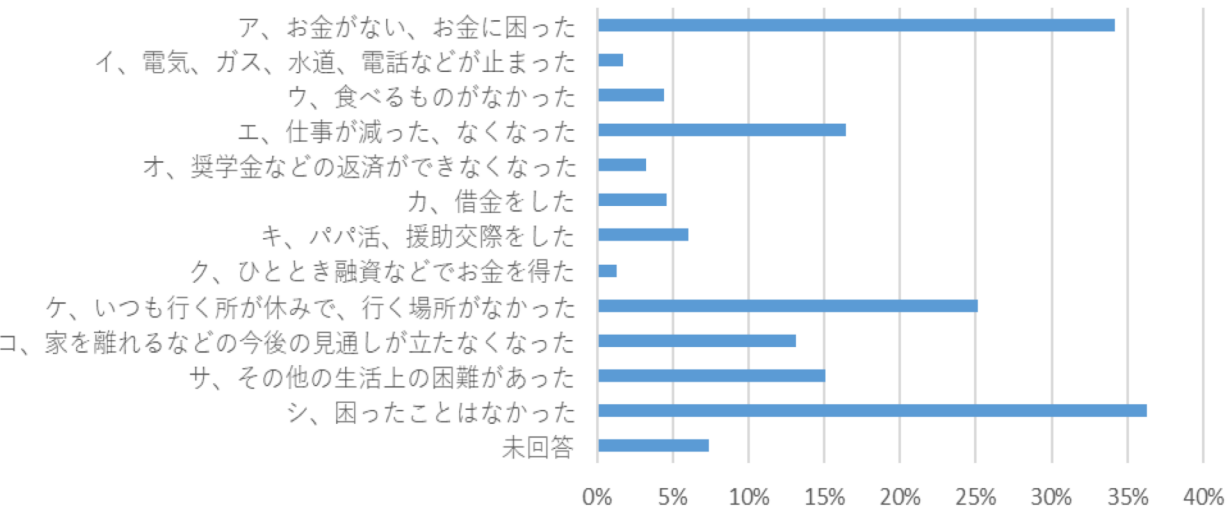
北海道	北海道																			
36	36																			
東北地方	青森県	岩手県	宮城県	秋田県	山形県	福島県														
36	6	9	23	7	7	15														
関東地方	茨城県	栃木県	群馬県	埼玉県	千葉県	東京都	神奈川県													
424	13	13	19	68	52	153	106													
中部地方	新潟県	富山県	石川県	福井県	山梨県	長野県	岐阜県	静岡県	愛知県											
135	15	5	4	6	5	19	10	24	47											
近畿地方	三重県	滋賀県	京都府	大阪府	兵庫県	奈良県	和歌山県													
149	17	14	21	54	27	13	3													
中国地方	鳥取県	島根県	岡山県	広島県	山口県															
33	4	5	9	14	1															
四国地方	徳島県	香川県	愛媛県	高知県																
26	1	6	14	5																
九州地方	福岡県	佐賀県	長崎県	熊本県	大分県	宮崎県	鹿児島県	沖縄県												
80	37	2	8	8	3	2	12	8												

（注）黄色いセルの都道府県は新型コロナウイルス感染症の感染者の多い上位10都道府県。

3. 困ったこと④：お金、くらしのこと（＊一部抜粋）

- 何らかの困ったことがあった人が61%あった。
- 感染流行地（感染者数上位10都道府県）はそれ以外の地域より困ったことのなかった人が8%少ない。
- 具体的な困りごとは、お金がない、仕事が減った・なくなった、行く場所がなかった、が多い。
- 職業別では、学生以外の人で困った人が多い。特に、無職とパート等の人は困った人が多い。

④お金、くらしのこと 選択割合



Q4 ④お金、くらしのこと	流行都道府県	選択/回答者数	流行都道府県以外	選択/回答者数
ア、お金がない、お金に困った	212	35%	113	32%
イ、電気、ガス、水道、電話などが止まった	9	1%	7	2%
ウ、食べるものがなかった	30	5%	12	3%
エ、仕事が減った、なくなった	109	18%	47	13%
オ、奨学金などの返済ができなくなった	15	2%	16	5%
カ、借金をした	21	3%	23	7%
キ、パパ活、援助交際をした	42	7%	15	4%
ク、ひととき融資などでお金を得た	5	1%	7	2%
ケ、いつも行く所が休みで、行く場所がなかった	171	28%	68	19%
コ、家を離れるなどの今後の見通しが立たなくなった	75	12%	50	14%
サ、その他の生活上の困難があった	99	16%	44	13%
シ、困ったことはなかった	201	33%	144	41%
未回答	43	7%	27	8%
合計	1032	100%	573	100%

3. 困ったこと④：お金、くらしのこと（続き）（＊一部抜粋）

Q4 ④ お金、くらしのこと	全職業合計		1小学生		2中学生		3高校生		4その他学生 (専門学 校、短大、 大学、大学 院)	5パートアル バイトフ リーター派 遣社員	6正社員		7個人事業主		8主婦		9無職		10その他	
	選択数	選択者/全 回答者	数	割合	数	割合	数	割合	数	割合	数	割合	数	割合	数	割合	数	割合	数	割合
ア、お金がない、お金に困った	325	34%	2	20%	12	11%	38	20%	76	37%	80	54%	30	24%	1	25%	7	47%	63	58%
イ、電気、ガス、水道、電話などが止 まった	16	2%	1	10%	0	0%	1	1%	0	0%	8	5%	2	2%	0	0%	0	0%	3	3%
ウ、食べるものがなかった	42	4%	1	10%	1	1%	4	2%	5	2%	15	10%	3	2%	2	50%	0	0%	9	8%
エ、仕事が減った、なくなった	156	16%	0	0%	1	1%	6	3%	38	18%	55	37%	13	10%	1	25%	5	33%	29	27%
オ、奨学金などの返済ができなくなっ た	31	3%	0	0%	0	0%	1	1%	5	2%	12	8%	4	3%	0	0%	0	0%	9	8%
カ、借金をした	44	5%	0	0%	0	0%	0	0%	6	3%	14	9%	9	7%	0	0%	1	7%	10	9%
キ、パパ活、援助交際をした	57	6%	0	0%	3	3%	8	4%	11	5%	16	11%	3	2%	1	25%	0	0%	8	7%
ク、ひととき融資などでお金を得た	12	1%	0	0%	0	0%	1	1%	2	1%	3	2%	4	3%	0	0%	0	0%	0	0%
ケ、いつも行く所が休みで、行く場所 がなかった	239	25%	1	10%	5	5%	41	22%	60	29%	51	34%	36	29%	3	75%	5	33%	25	23%
コ、家を離れるなどの今後の見通しが 立たなくなった	125	13%	0	0%	5	5%	9	5%	25	12%	27	18%	19	15%	1	25%	3	20%	30	28%
サ、その他の生活上の困難があった	143	15%	0	0%	4	4%	10	5%	27	13%	38	26%	20	16%	1	25%	3	20%	32	30%
シ、困ったことはなかった	345	36%	8	80%	66	62%	88	47%	73	35%	27	18%	45	36%	1	25%	3	20%	21	19%
未回答	70	7%	0	0%	18	17%	24	13%	12	6%	4	3%	8	6%	0	0%	1	7%	2	2%
合計	1605		13		115		231		340		350		196		11		28		241	

困ったこと④：お金、くらしのこと（続き）（＊一部抜粋）

【主な声】

▼仕事のこと

- 就職の不安
- 就職できてもやっていけるか不安
- 就職に備えた資格取得ができるか不安
- 収入減少の不安
- 将来の生活の不安
- 解雇の不安
- バイトや派遣の仕事がなくなる不安
- お金が必要なので風俗で働くのを辞められない
- 自分を売らなくてもよい仕事がほしい
- 正社員など安定した仕事に就きたい
- コロナで失業したが仕事が見つからない
- 副業をはじめたら悪質なサイトで詐欺にあって借金を抱えた
- 職場の人の余裕のなさやパワハラの問題。転職の不安があり離職しにくい
- 在宅勤務で同僚が見えずとり残されるのではないかと不安
- 医療職・福祉職・サービス業など感染の危険に晒されながら働く不安と低賃金
- サービス業なので第二波が来るとまた仕事なくなる
- 精神的な問題を抱えていても理解して働かせてくれる場所、自分のペースで働かせてくれる場所
- 女性専用の就労支援・起業支援の場所がほしい

▼お金のこと

- 公的な経済支援がほしい
（働けない、生活できない、学費が払えない、食事もできない）
- 給付金がなかなか振り込まれない
- 少額でもよいので定期的に給付してほしい
- 仕事もない、お金もない、でも社会保険は納付させられる
- 親や夫など主な稼得者の収入減少で生活が壊れる不安

BONDプロジェクトの新たな取り組み

① オンライン面談の定期的な開催



② ネットパトロールの強化

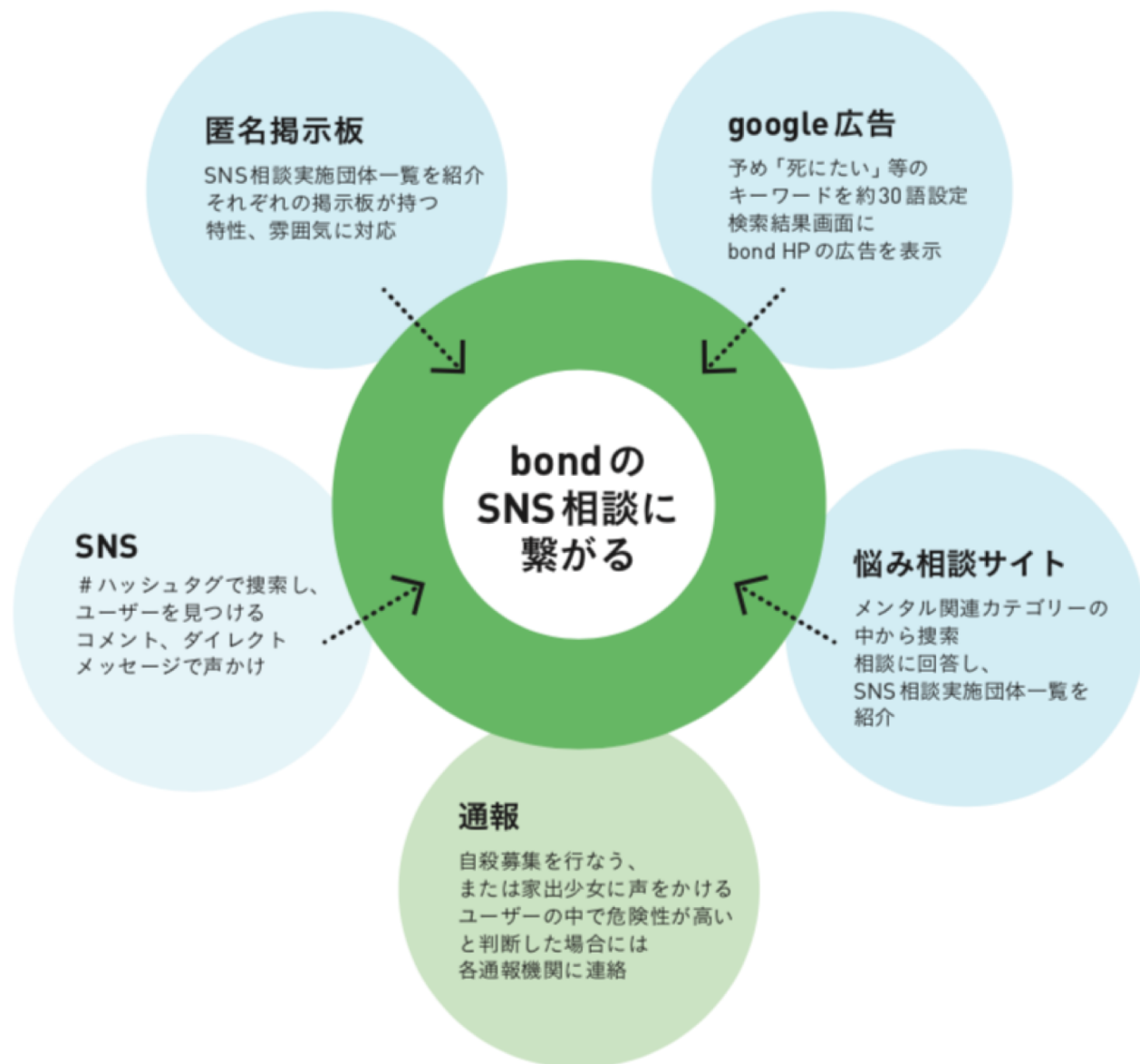
緊急事態宣言後のSNS上での変化

通報先である機関が、コロナの影響からかほぼ機能しなくなっており、
通報しても加害性のあるアカウントが削除されない時期が続いた。
(もしくは、削除ペースが非常に遅くなっていた。)



- ▶ 凍結の優先順位を考慮し、より確実に凍結されそうなアカウントを厳選して通報を行った。
- ▶ 加害性のあるアカウントに繋がる前に、安全な相談先や居場所を知ってもらいたいと思い、ネット上でのアウトリーチ活動を強化。

bond が行うネットパトロールの図



フォローする

殺してください。
殺してください
殺してくれる人募集します。
頑張ったねって言って殺してください。お願いします。
私にとっては生きてるのが辛いです。ストレスです。もう私も私で頑張ったから死にたいです。私なりに頑張ったので死にたいです。死にたい。助けて。助けて

19:20 - 2019年3月1日

1 1

bond

こんばんは、突然ごめんね。私たちは生きづらさを抱える若年女性の支援をしているNPO法人bondprojectです。現在、LINE相談をやっているよ。気が向いたらでいいので、LINEでお話聞かせてくれたら嬉しいな。よかったらHP見てみてね <http://bondproject.jp/>

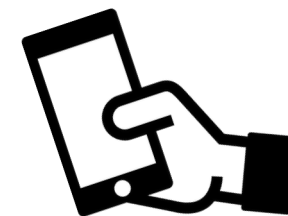
返信

なんでお父さん死んじゃったんだろ...
相手してくれて、話を聞いてくれて、笑ってくれて
大好きだったのに
お母さんは、私が泣いてたら怒鳴って、話を聞いてくれなくて、ご飯もなく
て、一人ぼっち...
寂しいよ...死にたい...
#病み #病み垢 #病み垢女子 #病み垢さんとつながりたい #死にたい

1 11

bond Project
@bond_project

こんにちは。突然ごめんね。わたしたちはbondプロジェクトです。10~20代の生きづらさを抱えた女の子の支援をしています。今LINEで相談を受けているんだけど、よければお話聞かせてくれたらうれしいな。私たちのLINEのQRコードを送るよ。気が向いたらでいいから、よろしくね。



4月

希死念慮を抱く女性に、性行為あるいは殺人目的で近づこうとしている事がツイート内容から伺え、直接会ってしまうと犯罪に発展する恐れがある。① 危険度が高いと思われるアカウントに対する通報、② #家出少女助けます系で怪しい仕事を斡旋、怪しい融資を進めてくるアカウントの通報、③ 自殺願望が明確にあり、実行を宣言しているアカウントの報告。

4月

#家出少女助けます系で怪しい仕事を斡旋、怪しい融資を進めてくるアカウントの通報を4月から開始。

#お金に困ってます #副業紹介 女性

#ひととき融資

(「ひととき融資」とは男女間で肉体関係を持つことを前提とした金銭融資のこと)

5月

#お金に困ってます #お金困ってます、#ひととき融資 #お金貸してください→ツイートが表示されなくなった。

Twitter側での一律規制の可能性あり。

#裏バイト #闇バイトと同じ扱いになった可能性あり。

6月

6/1から学校再開ということで、全体的に悩みを抱える学生が増加した印象。

「学校行きたくない」でキーワード検索するのは人多すぎてとても追えないため、#学校行きたくない #不登校などでアウトリーチ。